



渡辺香奈〈ザリバー〉(部分) 2012年

市美術館企画展

FLOWER

今をいろどる花たち

■会期 7月4日(土)～8月30日(日)

■会場 市美術館

市美術館は、花をテーマにした企画展「FLOWER～今をいろどる花たち」を開催します。

花は、昔から生命や豊穡の象徴として人々に愛され、神などへの祈りの儀式や宮殿での宴の場に使われてきました。その様子は、絵画や彫刻として残されています。今でも冠婚葬祭などさまざまな場面で身近にある花。アーティストたちは、花が持つ力強さや美しさ、はかなさに創作意欲を刺激され、表現してきました。

本展では、本市に活動拠点を置く渡辺香奈さんら6人の作品を「生命の花」「女神の花」など4つのテーマで展示。油彩や染色などで表現された花をお楽しみください。

問い合わせは、同館 (☎ 324-6125) へ。

美術館案内

- 時間＝午前10時～午後6時（金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで）
- 休館日＝月曜日（8月10日は開館し翌日休館）
- 観覧料＝一般500円、高・大学生300円、65歳以上と中学生以下は無料

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、健康状態申告書の記入などをお願いしています。詳しくは、市ホームページを確認してください



大村雪乃〈君に贈る〉2020年

市タワー美術館企画展

線の美

日本画における線の魅力

■会期 7月11日(土)～9月6日(日)
 ■会場 市タワー美術館



上村松園〈かんざし〉(部分) 1938年頃 水野美術館蔵
 展示期間 7月11日～8月10日(祝)

市タワー美術館は、日本画の線描に焦点を当てた企画展「線の美～日本画における線の魅力」を開催します。線描は、線を用いて描く画法で、日本画の特徴の一つです。単に線で物をかたどるだけでなく、太さや濃淡で対象物の質感や温もりを表現。線描を習熟させることが、日本画家としての第一歩でした。特徴が出やすい線描では、独自の表現を持つ画家も多くなりました。

本展では、さまざまな画家の線描や技法を紹介する他、同じ題材を異なる技法で描いた作品を比較、展示。女性のしなやかさや動物の緻密な毛並みなどを表現した作品70点をとおして、日本画における



広田多津〈立像〉1975年
 佐久市立近代美術館蔵

線描の魅力に迫ります。

問い合わせは、同館 (☎ 330-3773) へ。

美術館案内

- 時間＝午前10時～午後6時（金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで）
 - 休館日＝月曜日（8月10日は開館し翌日休館）
 - 観覧料＝一般500円、高・大学生300円、65歳以上と中学生以下は無料
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、健康状態申告書の記入などをお願いしています。詳しくは、市ホームページを確認してください



安田鞞彦〈かちかち山〉(部分) 1910年 株式会社ヤマタネ蔵